

## 【分配金のお知らせ】

2016年6月21日

野村アセットマネジメント株式会社

## 「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の 2016年6月20日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」(以下、ファンドといいます。)の2016年6月20日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、新興国債券市場および対象通貨の動向と、それに伴う基準価額水準の推移を総合的に勘案し、「円コース」、「資源国通貨コース」および「アジア通貨コース」の分配金を引き下げることといたしました。なお、「米ドルコース」につきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。

分配金引き下げに関する説明は次ページ以降をご参照ください。

## 【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	資源国通貨コース (毎月分配型)	アジア通貨コース (毎月分配型)	米ドルコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	40円 (50円)	60円 (80円)	70円 (90円)	40円 (40円)
決算日の基準価額	7,863円	4,518円	7,106円	8,819円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	10,928円 (10,856円)	10,013円 (10,140円)	13,364円 (13,833円)	9,738円 (10,088円)
分配金額設定来累計	3,060円	6,020円	5,650円	1,000円

前回決算:2016年5月18日

設定日:各コース(「米ドルコース」を除く)は2011年3月3日、「米ドルコース」は2014年5月12日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

## 【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

\*コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したことになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配としない場合があることにご留意ください。

分配金は、投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。

## 【各コースの分配金引き下げの背景】

## 円コース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「円コース(毎月分配型)」の分配金を50円から40円に引き下げました。

「円コース(毎月分配型)」の基準価額は、設定後、概ね横ばいで推移しましたが、2014年後半から原油価格の下落や米国の利上げ懸念等により新興国債券市場が下落したことで軟調となり、2016年1月下旬には7,300円台まで下落しました。基準価額は足元で上昇しましたが、2016年6月20日現在7,863円、設定来の騰落率は-21.4%となりました。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の設定来の騰落率は、+9.3%でした。

基準価額水準や、ファンドが投資する外国投資信託のポートフォリオの平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース、2016年5月31日現在7.7%)等を総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

上記のポートフォリオの平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)とは、ファンドが投資する外国投資信託の組入債券等(現金を含む)の最終利回りをその組入比率で加重平均したものです。米ドル建て以外の債券等への投資にあたっては、原則として米ドル以外の債券など組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、債券など組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。

## 「円コース(毎月分配型)」の基準価額の推移

期間：2011年3月3日(設定日)～2016年6月20日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

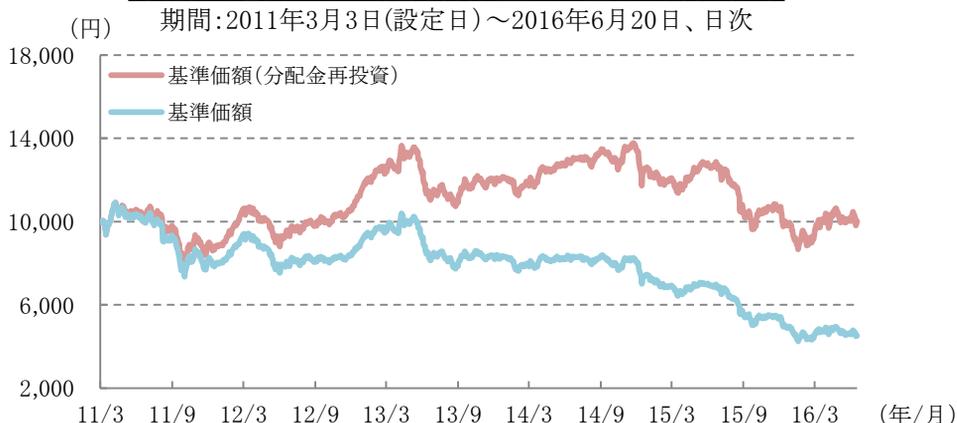
資源国通貨コース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「資源国通貨コース(毎月分配型)」の分配金を80円から60円に引き下げました。「資源国通貨コース(毎月分配型)」の基準価額は、設定以降、概ね10,000円を下回る水準で推移し、2015年6月18日決算において分配金を引き下げ(100円⇒80円、同決算日の基準価額は6,860円)ましたが、その後も基準価額は下落基調で推移し、2016年6月20日現在4,518円となりました。

前回の分配金引き下げ時以降の基準価額下落の背景には、新興国債券市場の下落に加え、原油等の商品価格の下落や米国の利上げ懸念による新興国からの資金流出等による資源国通貨(対円)の為替レート下落が挙げられます。この期間(2015年6月末から2016年5月末)における資源国通貨(対円)の為替レートの騰落率は-21.5%となりました。これらにより、基準価額の設定来騰落率は-54.8%となりました。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の設定来騰落率は+0.1%でした。

基準価額水準や為替の動向等を総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

「資源国通貨コース(毎月分配型)」の基準価額の推移

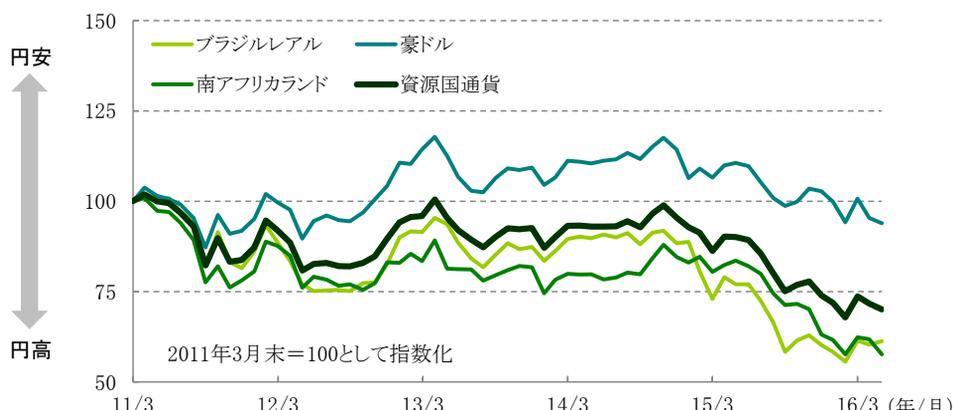


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定日より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

資源国通貨(対円)の為替レートの推移

期間:2011年3月末~2016年5月末、月次



「資源国通貨」は、3通貨(ブラジルリアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

アジア通貨コース（毎月分配型）

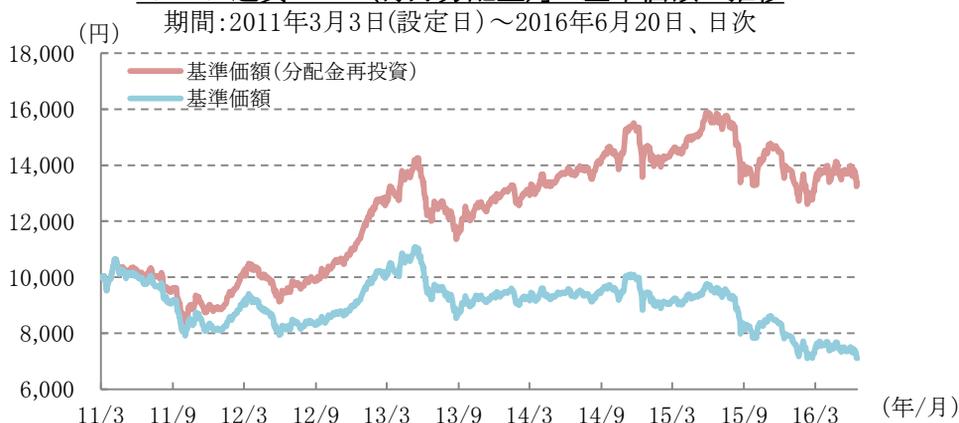
今回の決算におきまして、「アジア通貨コース(毎月分配型)」の分配金を90円から70円に引き下げました。「アジア通貨コース(毎月分配型)」の基準価額(分配金再投資)は、設定以降、概ね上昇傾向で推移し、2015年6月には15,800円台となりました。一方、基準価額は設定来の大半の期間を10,000円を下回る水準で推移しました。

2015年7月以降、新興国債券市場の下落に加え、アジア通貨(対円)の為替レート下落を背景に、基準価額、基準価額(分配金再投資)は共に軟調な動きとなりました。この期間(2015年7月末から2016年5月末)におけるアジア通貨(対円)の為替レートの騰落率は、米国の利上げ懸念による新興国からの資金流出や、中国経済の成長鈍化懸念が高まったこと等により、-13.8%でした。

2016年6月20日現在、基準価額は7,106円、設定来騰落率は-28.9%となりました。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)は13,364円、設定来騰落率は+33.6%でした。

基準価額水準や為替の動向等を総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

「アジア通貨コース(毎月分配型)」の基準価額の推移

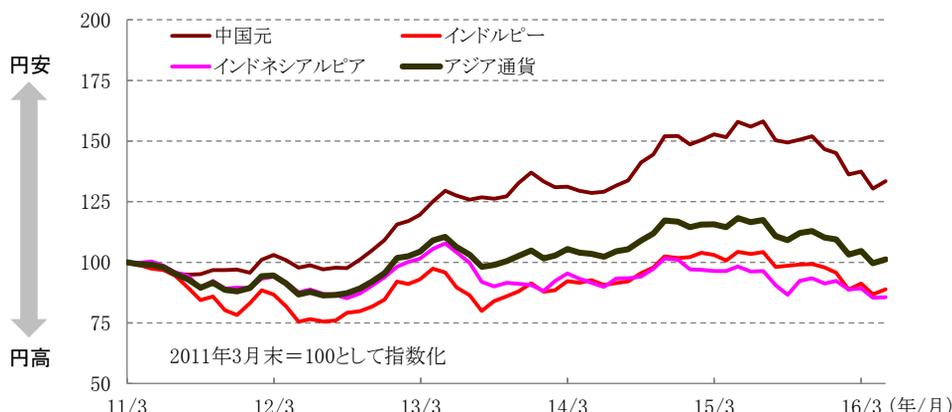


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

アジア通貨(対円)の為替レートの推移

期間:2011年3月末～2016年5月末、月次



「アジア通貨」は、3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)  
(毎月分配型/年2回決算型)

【ファンドの特色】

- 「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる4つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。
- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 新興国のインフラ関連企業\*1の債券を実質的な主要投資対象\*2とします。

\*1 当ファンドにおいて「インフラ関連企業」とは、産業や生活の基盤となる設備やサービスの提供を行なう企業や、インフラの発展に伴って恩恵を受けると考えられる企業をいいます。

\*2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- 円建ての外国投資信託「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド\*」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

\* 「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンドA」および「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンドB」を総称して「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」といいます。  
・「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」には、為替取引手法の異なる8つのクラス(J(JPY)/J(BRL)/J(AUD)/J(ZAR)/J(CNY)/J(INR)/J(IDR)/J(USD))があります。

円コース (毎月分配型)/年2回決算型	・外貨建資産を原則として対円で為替ヘッジを行なう外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。
資源国通貨コース (毎月分配型)/年2回決算型	・外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、資源国通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)を買う為替取引を行なう外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。 ・外国投資信託への投資にあたっては、3つのクラス(J(BRL)、J(AUD)、J(ZAR))を投資対象とし、各々3分の1程度ずつ投資を行いません。
アジア通貨コース (毎月分配型)/年2回決算型	・外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、アジア通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)を買う為替取引を行なう外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。 ・外国投資信託への投資にあたっては、3つのクラス(J(CNY)、J(INR)、J(IDR))を投資対象とし、各々3分の1程度ずつ投資を行いません。
米ドルコース (毎月分配型)/年2回決算型	・外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行なわない外国投資信託および「野村マネー マザーファンド」に投資を行いません。

- 通常の状況においては、「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

\* 通常の状況においては、「PIMCOバミューダ・エマージング・マーケット・アンド・インフラストラクチャー・ボンド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- 運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- スイッチング

「野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

- 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

\*コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

◆ 年2回決算型

原則、毎年2月および8月の18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《分配金に関する留意点》

● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。● 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部戻戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(通貨選択型)  
(毎月分配型/年2回決算型)

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 【円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース】  
平成33年2月18日まで(平成23年3月3日設定)  
【米ドルコース】  
平成33年2月18日まで(平成26年5月12日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、2月および8月の18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額  
●ご購入単位 ご購入申込日の翌営業日の基準価額  
1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
【円コース、資源国通貨コース、米ドルコース】  
・申込日当日がニューヨーク証券取引所の休業日と同日の場合  
【アジア通貨コース】  
・申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合  
ニューヨーク証券取引所 ジャカルタの銀行  
・申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金のお申込みの受付を行わないものとして委託会社が指定する日の場合
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年6月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.8468%(税抜年1.71%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆ お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆ 設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。